

美術科シラバス

科目名	単位数	学年	対象
素描	2	2	芸術教養コース

使用教科書・副教材	「高校美術2」 116-日文・美Ⅱ-302 日本文教出版
指導目標	対象を深く見つめる力や感性を深め、創造的に表現する能力を伸ばす。

学期	月	週数	学習内容	学習のねらい	時間								
1	4	1	石膏胸像デッサン① メディチ 鉛筆10時間	石膏像をよく観察し、その構造について理解する。 構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	12								
		2											
		3											
	5	4				石膏胸像デッサン② マルス 鉛筆12時間	石膏像の動勢をよく見て、捉える。 構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 塊や量感、形のプロポーションを捉えて表す。 トーンの幅を出した表現をする。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	14					
		5											
		6											
	6	8							人体クロッキー	骨格、プロポーション、動勢を捉え、構造をよく理解しながら描いていく。	4		
		9											
		10											
	7	11	静物デッサン① 組みモチーフ4点 鉛筆12時間	構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。 組み合わせられたモチーフの描き分けを意識し、トーンの幅を出した表現をする。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	14								
		12											
		13											
	9	14										静物デッサン② 石膏像+組みモチーフ 鉛筆14時間	構図、形のとり方に注意しながら描いていく。 アウトラインだけで描かないよう注意する。 組み合わせられたモチーフの描き分けを意識し、奥行きや空間を捉えて表現する。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。
15													
16													
10	17	自画像デッサン 鉛筆10時間	骨格、プロポーション、動勢を捉え、構造をよく理解しながら描いていく。 講評会において鑑賞、自己評価をおこなう。	10									
	18												
	19												
11	20				まとめ	作品の鑑賞、および教室整備	2						
	21												
	22												
12	23												
	24												
	25												
1	26												
	27												
	28												
2	29												
	30												
	31												
3	32												
	33												
	34												
3	35												
	36												
	37												

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの基本姿勢が身についているか ・構図や形のとらえ方ができたか ・立体感や質感の描写表現ができたか ・授業態度(意欲、関心：30%)＋作品、提出物(技能、表現、理解：70%)
----	--